

授業科目名		対象学科・専攻	年次	期別
保育内容の指導法（人間関係） Teaching Methods of Contents of Child Care and Education (Human Relations)		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	前期
科目	施行規則に定める科目区分又は事項等			
領域及び保育内容の指導法に関する科目	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）			
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	教員免許状取得 必修/選択必修	担当教員名	
			木村 一恵	
演習	1	必修	担当形態	
			単独	
全体目標及び概要				
人間関係が人としてこの社会を生きていく上で避けて通る事のできないことを理解し、乳幼児からの発達にどのような環境や人とのかかわりが求められるのかを探るとともに、育ちを支える保育・教育の在り方を学ぶ。				
一般目標及び到達目標				
<p>(1) 「生きる力」の原点としての人間関係には、乳幼児期からのかかわりが重要であることを理解している。</p> <p>1) 今の子ども、親との関係、家族についての現状について説明できる。</p> <p>2) 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の中での人間関係の領域について説明できる。</p> <p>(2) 集団生活の中での発達の過程を見通した指導について理解する。</p> <p>1) 幼稚園教育以前の年齢の子どもの姿と他の子どもたちへのかかわりを学び、乳児期からのかかわりの重要性を理解する。</p> <p>2) 幼稚園における集団づくりの考え方の基本や指導上の留意点、配慮事項について説明できる。</p> <p>3) 乳幼児期に適切な集団遊びについて具体的に説明できる。</p> <p>(3) 人間関係は子ども同士の関係だけでなく、大人との関係、大人同士の関係が大きく影響することを理解する。</p> <p>1) 子どもの発達にとってどのような環境や人とのかかわりが重要なのか具体的に説明できる。</p>				

授業内容と進め方		
回数	授業内容	到達目標の番号
1	「生きる力」の原点としての人間関係を理解する	(3) 1)
2	乳児期からの子どもと現代の親のおかれている状況を理解する。	(1) 1)
3	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」における人間関係領域のねらいを学ぶ。	(1) 2)
4	0歳児の集団生活の中での姿を実践記録を通して学ぶ。	(2) 1)
5	1, 2歳児の集団生活の中での姿を実践記録を通して学び、人間関係の基礎が乳幼児期にあることを理解する。	(2) 1) 3)
6	3歳児の幼稚園生活の中での姿を知り、集団づくりの考え方を学ぶ。	(2) 2)
7	3歳児の集団づくりを考える上で、どのような活動が適切か理解する。	(2) 2) 3)
8	4歳児の幼稚園生活の中での姿を知り、具体的な集団づくりの過程について学ぶ。	(2) 2)
9	4歳児の集団づくりを発展させていく遊びの展開と援助の基本を学ぶ。	(2) 2) 3)
10	5歳児の幼稚園生活の中での姿を知り、4歳児との違いを理解する。	(2) 2)
11	5歳児の集団づくり、リーダーについて学ぶ。	(2) 2) 3)
12	幼稚園生活の中で人とのかかわりの難しい子どもへの支援の仕方について学ぶ。	(2) 1) 2)、(3) 1)
13	保護者と保育者の望ましい関係はどういうものか事例を通し、理解する。	(3) 1)
14	保育者間の子どもの見方、保育観が子どもの人間関係を育むためには重要なことを理解する。	(3) 1)
15	さまざまな社会状況や家庭環境の中でも子どもたちがすこやかに人とのかかわりをもって育つために必要なことを理解する。	(1) 1)、(2) 1) 2) (3) 1)
成績評価方法	授業への取り組み（関心・意欲・態度）30%、レポート（思考力・判断力・表現力）20%、定期試験（知識・理解）50%	
テキストおよび参考文献	「保育の指導法 人間関係」山口短期大学 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領	
メッセージなど	人として生きていく上で欠かすことのできない人とのかかわりが乳幼児期からどのように育っていくのかを具体的に学ぶ中で、保育・教育にたずさわる者としてどのように子ども、親とのコミュニケーションをとっていくか演習を交えながらすすめていきます。	